

科 目 名

機械工学セミナー Mechanical Engineering Seminar

3年 前期 2単位 必修

吉 良 章 夫
白 本 和 正

概 要

昨年の世界的な経済危機により今後数年間の就職活動は相当厳しいものになることが予想される。就職活動のために準備すべきことは、専門科目の習得のみならず、一般常識やコミュニケーション能力の向上、適切な自己分析など多岐にわたる。企業の採用活動の開始時期が年々早まっていることから、これら就職準備は3年次の初めから積極的に行わなければならない。そこで、本講義では就職活動への意識向上を図り、社会情勢に対応したキャリア教育を行う。

目 標

1. 業種、職種について正しく認識させる。
2. 学生が自らの能力や適正を見極め、適切な進路決定を行うための知識を身につける
3. 社会の動向に対する意識を向上させるとともに、社会人になるための自覚を促す。

授業計画

1. 講義の趣旨説明および受講時の注意事項
2. キャリアアドバイザー講話①
3. キャリアアドバイザー講話②
4. 卒業生による講話
5. 適職診断テスト
6. SPI 対策講座①
7. 一般常識テスト①
8. 自己分析（表現）①
9. SPI テスト
10. SPI 対策講座②
11. 自己表現テスト
12. 一般常識テスト②
13. 4年生内定者の就活体験講話
14. 面接対策
15. 定期試験（小論文）

授業方法

講話と模擬テストを実施する。

学習到達度の評価

1. 講話についてはレポートを提出させ、評価する。
2. 模擬テストの結果により評価する。

評価方法

出席率、レポート、模擬テスト結果ならびに定期試験における小論文により総合的に評価する。

教 材

必要に応じてプリントを配布する。

履修上の注意

授業中だけでなく、日頃から新聞、テレビ等により社会の動向などに目を向けると共に、自己研鑽を心がけること。

科 目 名
機械工学セミナー Mechanical Engineering Seminar

4 年 前期 2 単位 必修

後藤 英一・白本 和正

概 要

4 年次は大学を巣立ち、実社会へ踏み出す準備の 1 年間である。したがって就職と進学が基本的な進路となる。

本講では一般社会での就職を前提に、企業・会社とは？ そこで行う仕事とはどんなことか？ 製造業での製品造りとは？ またその為の基本技術とは？ 技術者の果たすべき役割とそのために必要な技術力と人間性などについて、これまでの知識を整理した上に、実社会の知識を加えて新しい世界への円滑な出発をめざす。

目 標

4 年前期は就職活動の最盛期であり、希望業種の企業で、希望の職種に就職できるかが課題である。産業社会の実態、仕事の内容をよりよく理解し、かつ、自分自身の実力、性向、得意、不得意をわきまえ、その改善・向上を目指す。

授業計画

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1) 企業・会社について | : 企業にはどのような業種があるか |
| 2) 製造業における仕事について | : 物造りのプロセスと技術者の役割 |
| 3) 製品・商品について | : 商品はどのような部品から成り立っているか？
部品・商品製造技術・設備など |
| 4) 製造技術と機械工学科カリキュラム
科目の関連について | : 機械工学は物造りの基本となる学問、これまで
学んだ学問・技術について整理・体系化し直す |
| 5) 就職試験とその対応について | : 企業人・社会人として求められていること |
| 6) 基本技術の整理確認 | : 機械技術者として必要な基礎技術の確認・強化演習などを行う |

授業方法

ビデオ、OHP および配布プリントなどを用いて講義・演習を行う。

評価方法

演習問題・レポートの提出状況および内容により評価する。

教 材

必要に応じてプリントを配布する。

履修上の注意

必修科目であり、就職に直結するので必ず出席し、自主的に演習努力すること。